

9
2005
No.220
けねべつ
JA広報



選手宣誓!! 松本貴志くん(本別)



みんなで元気にラジオ体操



一緒にジャンプ!!



○×ゲーム!!バンザイ!!



カーニバルの開会を告げる実行委員長挨拶(岩瀬堅治さん)

第16回けねべつふれあいカーニバル



大混戦!! 男女混合リレー!!



帰れ北方領土(綱引き)



源平合戦(玉入れ)

地域住民が集い盛大に開催された

けねべつ ふれあいカーニバル



総合司会は副実行委員長 松崎さん

カーニバル成績
優勝 旭会
準優勝 東会
三位 本別

計根別地域総合振興対策協議会が主催となり、今年も計根別地域の全町内会を集め、真夏の休日をみんなで楽しみ、地域住民の親睦を深めようと第十六回けねべつふれあいカーニバルを八月七日農協グラウンドにて盛大に開いた。

当日の天候は晴れ。絶好の運動会日となり、参加町内会全十一チーム（約六〇〇名）が競技へ挑んだ。

今年のカーニバルは、昨年同様の競技種目により、綱引き、玉入れ、リレー、縄跳びなどが行われた。

その後、〇×ゲーム、ビンゴゲームが行われ、大人から子供までハラハラドキドキの瞬間を最後まで楽しんだ。さらに、ビンゴゲームで幸運を手にしたのは中央会の前田佳民さん。豪華旅行券をゲットした。



カーニバルの開会式。大会役員勢揃い!!



お年寄りの皆様も元気に競技へ参加。`宝くじ、



ラジオ体操の模範演技は、中瀬 滋くん(旭会)



ガンバレ30代!! 男女混合リレー



一緒にジャンプ!! バテバテだった大成チーム



お目当てのお菓子をゲット!! ガンバレ、チビッコ



○×ゲーム(子供)で優勝した
田中祥太くん(養老牛) ピース!!



女性陣の活躍が目立った「玉入れ、



大混戦となった男女混合リレー



裸足でリレーに挑んだ
永利くん(上標津)



○×ゲームを制覇した
計根別小 広瀬さん



多くのギャラリーに見守られ元気に綱引き!!



ビンゴゲームで旅行券を獲得。
前田佳民さん(中央会)



○×ゲームで頭を悩ます参加者。どっちだろう?



ビンゴカードを片手にハラハラドキドキ!!



カーニバルで優勝、旭会チーム
駒苫と同じく見事に大会二連覇!!



ビンゴゲーム、どんな賞品が当たったかな?



国旗とカーニバル旗の掲揚!!

次年度も地域活動支援や景観づくりに積極的な活動を展開

計根別農協地区連合協議会

第23回 定期総会 終了



定期総会に開会挨拶、瀬瀬会長

地区連合協議会では、計根別農協区域内における住民の暮らしに係わるさまざまな活動を通じて生活・文化・環境の改善向上を図ることを目的に第二十三回定期総会を七月二十七日、農協第二、三会議室で開いた。

定期総会は、協議会役員、常任幹事約二十名が出席。瀬瀬会長の挨拶で開会され、事務局から平成十六年度の事業報告へと移った。

昨年度事業では、各地区協議会活動への助成、桜並木移植事業を説明。その地域活動に対する支援や景観づくりに関する事項が主な内容として議事が進められ、平成十七年度事業計画においても地区協議会活動助成や桜並木移植事業の継続が全会一致で承認された。



真剣な表情で議案内容を確認する役員



結婚対策に取り組む当JA専門相談員 梶谷さん（左）、別海町相談員 桐島さん（右）

担い手育成協議会では、独身の農業後継者に一人でも多くの伴侶を見つけることを目的として、七月二十七日農協会議室にて第十回定期総会を開いた。

総会は、協議会役員十二名が参加。瀬瀬会長の挨拶により開会され、議事へと移った。平成十六年度事業報告では、昨年度開催された四度の交流会の詳細について報告がなされ、平成十七

結婚に対する意欲を高めて
一人でも多くの成婚者を…

担い手育成協議会定期総会終了

年度に向けては、懸案事項であった高齢者対応として専任相談員との連携を密にした個人交流活動の実施が予定され、例年実施している交流会と合わせて積極的な取り組みが期待されます。

今後は、農村・都市を問わず結婚が難しい時代にあって一人でも多くの成婚者を求めて、結婚に対する意欲を高める活動を展開して参ります。





審査会前に挨拶する田中委員長（養老牛）



住宅前に整備された大きな花壇



衛生的に管理されているバーラー内



ミルカーの隅々まで衛生的!!



処理室周辺も花とアスファルトで環境美化



住宅前には見事な芝生を整備

環境美化への 意欲に格差が… 農場環境審査終了

計根別農協酪農対策協議会

技術向上対策委員会

技術向上対策委員会では、安心な生産環境と年間を通じて安全な原料乳の供給を目指して、生産現場における環境、乳質部門の総合評価を行うために八月十八日、平成十七年度良質乳生産共励会農場環境審査を開いた。共励会は、委員会、農協、関係機関から約四十名が参加。十八班のチーム編成により本年度の農場環境審査会を行った。

審査内容は、昨年同様に畜舎や周辺の環境整備状況を確認。さらに、糞尿処理、産業廃棄物処理状況の確認項目が追加され厳正な審査が行われた。

審査会を終えた委員さんから

今年の審査公表として「環境美化に対する意欲に格差が出てきた」「労働力の差が審査結果に影響しているのでは？」などの意見が出された。また、総体的には環境整備に対するレベルも上がり、審査会の継続が意識の向上にもつながっているとの高い評価を受けた。



ミルクカップ内側まで綺麗に清掃



清潔感が漂う処理室



施設周辺も整備され、作業性の高いスペースに…



牧場入口も見事に清掃



住宅前も花と芝生で環境美化



バルク周辺も明るく衛生的に

50周年記念事準備実行委員会が発足 記念事業の成功に向けて...

女性部は、来年度で設立五十周年という一つの節目を迎えます。そこで、設立五十周年を記念して盛大な事業展開を図るべく、本年度より設立五十周年記念事業準備実行委員会を立ち上げた。

実行委員会は、女性部三役、各支部からの代表者により構成され、記念式典や記念事業などの企画・立案に関わることとなった。



実行委員を囲んで、記念事業について協議する実行委員

また、実行委員長には穴戸悦子さん（大成）が就任され、事業全体を総括する重要な役割が課せられた。さらに、式典担当での責任者として長谷川希美さん（西竹）。記念誌の担当責任者には株田敏子さんが勤めることとなった。

今後は、設立五十周年記念事業の成功に向けて、充実した事業内容を検討して参りますので、女性部員皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

（実行委員会役員）

実行委員長 穴戸 悦子（大成）
副実行委員長 中垣 直美（本別）

実行委員

渡辺 広美（大成）
西丸アヤ子（上標津）
長谷川希美（西竹）
株田 敏子（養老生）
渡辺 初美（計根別）
大友 佳子（計根別）
坂地 弘美（上標津）
山口 節子（西竹）
一木千代子（東西竹）
太田ひとみ（養老生）
信夫扶美子（本別）



カボチャ栽培の技術指導は普及センター 浜本氏

えふ・すういーる
では、秋の大イベントである農協オータムフェアに向けて、カボチャの栽培をしています。が、雑草除去を含めたカボチャの手入れを行うために八月二十三日、原田牧場のカボチャ畑にメンバーが集合した。

オータムフェアに向けて栽培したカボチャが不作。それを克服する料理を...
えふ・すういーる

当日は、作業服を着たメンバーが、片手にカマを持ち、畑の中に伸びた雑草退治とカボチャの蔓（つる）を手入れした。肝心のカボチャの出来はというと、生育、歩留まり共に悪く、九月上旬に予定していた収穫時期も一週間から二週間遅れが予想され、参加したメンバーも不安を隠しきれない様子でした。

生育不良の原因は特定できませんでしたが、今後のカボチャの成長を期待します。また、オータムフェアでは、メンバーみんなのアイデアを活かしたカボチャ料理を考案し、皆様に提供していきたいと考えています。



カボチャのつると雑草退治に悪戦苦闘!!



受入式での挨拶は、江崎副会長



大好きなアイスクリームに
思わずニコリ!!



手作りバターの完成に喜ぶ子供たち



バター作り、振って振って



受入先の小林さんと記念撮影

子供たちも大満足!

いい思い出づくりとなった 農業体験学習会

根室管内の小学生が、夏休みを利用して農村生活と農作業体験をし、地元の子供たちとの交流を通じて農業への理解を深める事を目的として、JA地区青協等が主催となり、第二十一回小学生農業体験学習を八月二～四日に開いた。

受入式は、二日農業会館にて行われ、地区青協江崎副会長から「期間中みんな頑張ってください」との挨拶により、子供たちは各JAの受入先へ元気に移動した。

JA計根別青年部では、三名の子供たちを受入（丸山小、中小五年生）。喜来清くん（計根別）、小林雄一くん（計根別）の両牧場で三日間の体験学習会となった。初日は、中標津加工センターでのバターづくり。みんな汗をかきながらも手作りバターが見事に完成。その後、各牧場にて牛のエサ配り、子牛の世話などを一生懸命手伝った。二日目には、両牧場の家族が揃って弟子屈の自然塾へと足を運び、乗馬体験などで自然を満喫し、大好きなアイスクリームに子供たちも大喜び。三日目は、子供たちが大の苦手としている感想文。しかし、みんなが時間内に書き上げ無事終了。楽しい昼食の時間を迎えた子供たちは、ウエスタンジでの焼肉とデザートでお腹も大満足でした。

最後に、農業体験学習会に協力して頂きました喜来牧場、小林牧場のご家族の皆さんに深く感謝申し上げます。



トラクターに乗って「安全第一」。



搾乳も手伝ったのかな？



体験学習会の受入式を待つ子供たち



子牛は可愛いですか？



初めてのエサやり緊張ぎみの
子供たち



学習会の最後はウエスタンで
楽しい昼食会



受入先の小林さん、喜来さんと
一緒にどこへ行ったのかな？

シリーズ第18弾 逸品館

“FORD 9030 VERSATILE”



今月の逸品館は、とても珍しいトラクターの紹介です。

このトラクターは、道内でわずかに2台、国内でも数台しか存在しないという貴重なものでした。その性能もタイヤショベル同様にボディーが中折れし、小回りがきくことから作業性も高く、とても便利なものでした。しかし、普段はサイレージ運搬にしか使っていないようです。オーナーは「便利なトラクターだけど牽引にはチョット物足りない。冬になるとエンジンもかからなくなるんだよね」と話してくれました。希少価値の高いトラクターだからこそ、いつまでも乗り続けてくれることを願います。

忙しい時期にも関わらず取材にご協力して頂き、本当にありがとうございました。

FORD 9030 VERSATILE

購入年月／平成8年8月

購入価格／7,000,000円（推定）

馬力／110ps

お気に入り／①珍しいトラクターだから

②ボディーが中折れし、小回りがきく

③作業面では万能だけど、牽引には物足りないところ

THE FRIEND CONNECTION

西塚 知也(上標津支部)
S57.3.6生 23歳

Q1. あなたの趣味は？

A1. パチスロ(現在、押忍!! 番長にハマっているそうです)

Q2. 今、欲しいものは？

A2. 牛乳サンプラー(乳検がやりたーいっ!!)

Q3. 今年、何をしたいですか？

A3. 乳牛改良について勉強したい

Q4. 好みの芸能人は？

A4. 仲間由紀恵

Q5. 将来の目標は？

A5. 西塚秀夫(色んな意味で…)

Q6. 友達を紹介してください

A6. 上標津の永利嘉成くんです。

Q7. なぜ、永利くんを選んだのですか？

A7. 上標津の黒幕だから…





これぞ「職人芸」



この2人は何してたの？でもとても楽しそう

青年部では、本年度も牛乳・乳製品の消費拡大を呼び掛けようと部員の有志が集い、巨大な牛乳パックの看板を八月九日、農協倉庫にて作成した。

当日は、部員十一名が七つ道具を片手に集合。コンパネとタルキを使ってどんな牛乳パックが出来るのか？みんな不安な気持ちで取り組んだ。しかし、作業が始まると鈴木副部長が、棟梁を勤め、スムーズで正確な仕事により

見事な牛乳パックを作り上げた。

また、九月十一日からのじゃがいも伯爵まつりを皮切りに四回のジャンボハンバーグを出店しますが、この牛乳パックを使って牛乳・乳製品の消費拡大も同時に呼び掛けて参りますので皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

完成された巨大牛乳パックは、イベント当日に皆様へお披露目致しますのでご期待下さい。

消費拡大を呼び掛ける 巨大牛乳パックづくり



棟梁の指示でスムーズに作業が進行



ペンキ塗りに苦労しました

新メンバー4名を加えて 上位入賞を狙う青年部駅伝チーム



J A 計根別
青年部
駅伝メンバー

監督 鈴木直良(西竹)
キャプテン 久保伸(上標津)
選手 久保伸(上標津)
後藤順(上標津)
杉本聡史(西竹)
早坂大輔(西竹)
榎本知也(西竹)
中村正博(養老牛)
遠藤慎也(養老牛)
太田隼樹(養老牛)
河本慎太郎(大成)
斉藤浩平(大成)
砂越健一(大成)
高橋顕吾(大成)
小林謙二(大成)
中垣隆二(本別)
佐藤勝一(農協)

青年部では、本年度も九月二十三日に開催される、別海町駅伝競走大会に向けて、八月十八日農協会議室に青年部の有志十六名が集まった。

今年は、昨年のメンバーに加えて四名の新人参加もあり、チーム全体がリフレッシュ。新たな気持ちで駅伝大会に臨むこととなった。

また、チーム監督には、鈴木直良くん(西竹)。キャプテン

に宍戸洋行くん(大成)がそれぞれ就任。青年部駅伝チームをグイグイと引っ張ってくれることと思います。

今後のスケジュールは、週二〜三回のランニング。計根別市街地五〜六kmのロードを行い、当日の駅伝大会に挑みます。昨年度の成績は十一位と十九位。今年は上位入賞(六位)を目指して頑張ってくれることを期待します。

良質な堆肥で環境に優しく 品質の高い牧草生産を…

購買事業部では、有用微生物を活用して糞尿の分解促進と良質な液肥づくりに取り組むことを目的として、七月二十七日ふあーまつく二F会議室にて糞尿利活用講習会を開いた。

当日は、組合員や職員を含めて約十五名が参加。講師に（株）松本微生物研究所岡田氏を招いて「糞尿利用の土づくり」と題した講習会となった。講習会では、微生物の特性、資材の紹介などがなされ、微生物の有効活用による養分吸収率の向上、根の活性化を促進するなどの特徴が説明された。



熱心に講義をうける参加者

さらに、参加者した組合員さんから「微生物資材を活用してから臭気が減った」「堆肥の腐熟も進み、肥料の減肥にもつながった」との話しを聞くこととなった。最後に、社会的にも環境



今後の糞尿処理に微生物を…と講師の岡田氏



微生物資材を利用している組合員さんも参加

問題が重要視されるなか、農協でも糞尿処理問題は永遠の課題として取り組み、今後も組合員皆様のニーズに応える活動を展開して参ります。



中央会 宮田会長から盾を受け取る額縁組合長

J A北海道中央会では、J A広報活動の充実、発展に努めるべく、全道J A広報誌コンクールを開いた。

広報コンクールは、昭和四十八年より開催され、本年度で三十二回目のコンクールとなった。本年度のコンクールは、全道より十六J Aがエントリー。最近の広報誌は全体的なレベルアップが図られ、広報に対する意識も高まるなか当農協も参加した。

広報「けねべつ」優秀賞を受賞

平成十六年度全道J A広報誌コンクール



広報「けねべつ」に対する評価は、経営・技術や地元の話題、お年寄りの紹介などアットホームな企画が好評となり、特に地域の珍しい物を紹介する「逸品館」や組合長の一口話題が高く評価された。

結果は、事実上第二位の成績となる優秀賞を受賞。組合員、職員その他、広報に携わる関係機関皆様のご協力により受賞することができたと考えています。今後も皆様に親しまれる紙面づくりに努め、地域の情報を読者の皆様に伝えて参ります。



開会挨拶とルール説明。曾根一男さん



ギャラリーに囲まれて緊張の一打は
信夫さん（本別）



コース内でも楽しく会話する参加者



ナイスショット!! 宇賀神さん(本別)

会員21名で元気にパークゴルフ

年金友の会パークゴルフの集い

年金友の会では、会員皆様の健康増進を図るために八月二十六日正美公園にてパークゴルフの集いを開いた。

当日は、曇り空のなか少し肌寒さを感じる天候となったが、会員二十一名が参加。曾根一男代表の挨拶とルール設定を行った後に参加者は元気にスタート。

パークが始まると各ホールから歓声が沸き起こり、会員がプレーを楽しむ様子が伝わってきた。また、プレー中の会話が弾み、会員相互の親睦も深まる充実した一日となり、会員からも好評を得た。

結果は、次のとおりとなったが、会員全体のレベルも高く、優勝は三位まで一ラウンド五十六という大混戦。最終的にはハンディキャップの差が勝敗を決め、日頃の練習成果が伺えるパークゴルフの集いとなった。

〔成績〕

優勝 渡辺ウメノさん
準優勝 桑島 栄子さん
第三位 沢田耕四郎さん

加工品や野菜など安価で販売 農業高校が第4回収穫祭

中標津町民の方々に、農業高校の製品・活動を広く知ってもらいたく、今年で4回目の収穫祭を企画しました。この収穫祭では安価で新鮮な農高生手作りの製品をたくさん用意しております。是非、会場へお立ち寄り下さい。

ところ 平成17年9月29日(木) ところ なかまっぷ(中標津町経済センター)

問い合わせ／北海道中標津農業高等学校 電話 78-2053

販売内容



肉加工品 「知床らうす深層水」使用の肉製品は中農オリジナル商品です。ぜひ、ご賞味下さいませ！

※ウイナーソーセージ・ベーコン・羅臼昆布ソーセージ ほか

乳加工品 まったり美味しい中農乳製品をどうぞお召し上がり下さい。

※ゴータチーズ・バニラアイスクリーム ほか

農産加工品 登場!! 地元原料使用「イチゴジャム」「ブルーベリージャム」ぜひご期待下さい。

※計根別羊羹・ジャム(イチゴ・ブルーベリー)・カップケーキ・焼き
たてパン ほか

野菜 ふそろいで、数が限定されている野菜達ですが一生懸命育てました。
めっちゃうまいッス!!

※ジャガイモ・ハクサイ・キャベツ ほか

花 農高生が丹精込めて育てた鉢花です。

※なでしこ ほか

鉄加工品 完全ハンドメイドですので、同じものは2度とできません。

※チャリンコくん・その他フラワースタンド ほか

その他 コーヒー牛乳・フルーチェの無料配布





硝酸態窒素について

硝酸態窒素の含有量が高い粗飼料を給与することは、慢性中毒の場合は流産、死産、発情微弱、乳量、乳質の低下、乳房炎、起立不能等の発生の要因になり、急性中毒の場合では死亡する場合もあります。

今回は硝酸態窒素について考えてみます。

一、硝酸態窒素濃度が

高くなる原因

家畜糞尿や化成肥料由来の窒素はタンパク態窒素やアンモニア態窒素の形で施用されます。

これらの窒素は土壌中の微生物の働きで、硝酸態窒素やアンモニア態窒素に形を変えて牧草に吸収されタンパク質の合成に利用されます。

硝酸態窒素濃度が高くなる要因として

①窒素肥料の多量施用により、硝酸態窒素の吸収速度が牧草のタンパク質合成速度を超えたときに、硝酸態窒素が多量に蓄積されます。

②施肥時期と収穫時期の期間が短い場合にも、硝酸態窒素の吸収量に対してタンパク質の

合成が追いつかずに硝酸態窒素の蓄積がおこります。

③日照不足により牧草の生育の悪い年は、タンパク質の合成が鈍化し硝酸態窒素が蓄積されます。

二、サイレイジと硝酸態窒素

硝酸態窒素を蓄積した牧草をサイレイジに調製すると、貯蔵中に硝酸態窒素の一部が消失することが確認されています。これはサイレイジ中の微生物の働きにより、牧草中の硝酸態窒素の一部が酸化窒素ガスに変化するためです。

また、図一が示すように硝酸態窒素の消失率は、高水分サイレイジ（水分七十五%以上）が高く、乾草が低くなっています。

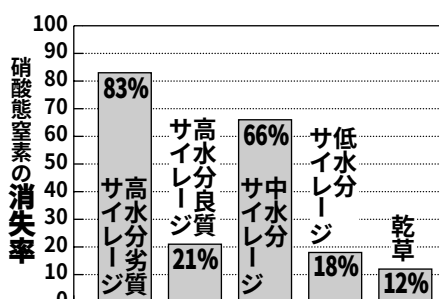


図1 牧草調整法の違いが硝酸態窒素の消失量におよぼす影響 (増子、安宅)

表1 乳牛に対する硝酸塩含有飼料の給与ガイド

飼料中の硝酸態窒素含有量 (乾物中%)	飼料の給与上の注意事項
0.10以下	どのような状態の乳牛にも安全に給与できる。
0.10～0.20	給与バランスを考え、妊娠牛には乾物摂取量の50%以内にする。
0.20～0.34	どの乳牛にも乾物摂取量の50%以内に制限し、しかも給与のバランスに注意する。
0.34以上	中毒発生の可能性あり、給与に注意する。

(ブレウITT)

さらに皮肉なことに高水分サイレイジの中でも発酵品質の悪いサイレイジほど硝酸態窒素の消失率が高いことがわかります。

イン(表一)を超えている可能性があります。

三、硝酸態窒素の

弊害をなくすためには

硝酸態窒素の弊害をなくすためには、窒素肥料(家畜糞尿と化成肥料)の施用量と施肥時期から収穫までの期間確保が重要です。(少なくとも一ヶ月以上、理想的には二ヶ月)

施用量については施肥標準に基づいておこないます。家畜糞尿の施用量及び成分を把握し、場合によっては化成肥料の減肥をおこない、適正な窒素肥料量を施用します。

施肥時期については、牧草収穫時期から逆算して少なくとも一ヶ月以上前には施用しましょう。

牧草の硝酸態窒素はサイレイジ調製することにより、ある程度減らすことができます。(高水分で劣質なサイレイジを調製することをお勧めしているわけではありません。)

原料草が含まれている硝酸態窒素が多い場合は、サイレイジ調製されても給与できるガイドラ

「硝酸塩中毒」で死亡する牛は少ないと思われませんが、慢性中毒による繁殖障害や生産性の低下等は少なからず見受けられます。給与する粗飼料が疑わしい場合は硝酸態窒素含量を測定し、その結果をもとに表一のガイドラインと照らし合わせて給与量を検討しましょう。



ホクレン畜産技術研究所 研修生 募集要領

ホクレンは、酪農畜産振興の一環として畜産技術研究所（訓子府町）において、家畜飼養管理技術等の教育研修を行い、酪農畜産後継者の養成を行っています。

- 1. 目的** 原則として、道内酪農畜産後継者の養成を行うため、畜産技術研究所において、主に家畜飼養管理技術を習得するための研修をおこなう。
- 2. 応募資格** 研修生として応募する者は、原則として道内酪農畜産家の子弟であり、将来後継者になるために研修を通じて、酪農・畜産に関する知識・技能を学ぼうと志す者であり、心身健康で、高校卒業以上の学歴を有し、地元農協組合長の推薦を得た者とする。
- 3. 定員** 研修生の定員は5名程度とする。なお、採・否については、面接および筆記試験等により選考する。
- 4. 研修期間** 原則として1ヵ年とし、毎年4月1日～翌年3月31日までとする。
- 5. 応募期間** 平成17年11月15日までとし、12月末日までに採否決定通知する。
- 6. 応募方法** 応募する者は、次の書類を本会該当支所長経由で研究所長に提出しなければならない。
(1) 入所願（第1号様式）(2) 履歴書 (3) 調査表（学校作成）
(4) 家族調書（第2号様式）(5) 推薦状（農協組合長）
(6) 健康診断書（学校で受診された診断書でも可）
- 7. 研修内容** 研修期間中は主に次の研修を受けることができる。
1) 家畜飼養管理技術の習得
2) 飼料作物栽培方法・収穫・貯蔵技術の習得
3) 環境衛生・乳質改善技術の習得
4) 酪農機器・農業機械の操作・点検技術の習得
5) その他
- 8. 資格** 次の資格取得を希望する者は、研究所長が適正と認めた者に限り、受験および受講することができる。
1) 家畜人工授精に関する講習会（経費は自己負担）
2) 酪農ヘルパー養成研修会
3) 車両系建設機械運転技能講習
- 9. 服務** 研修生は、別に定める諸制度・諸規則により研修しなければならない。
- 10. 研修経費** 別に定める給与から必要経費（宿泊・食事・研修費等）を控除する。
- 11. 修了証** 研修期間を修了した者には、修了証を授与する。

問い合わせ先
JA計根別
総務企画部 営農課まで
☎0153-78-2111
(農協代表)

<http://www.ja-kenebetsu.com/>



ページを
クリック！



ホームぺージ開設しました

[計根別ってどんなところ？](#) | [逸品は何？](#) | [牧場探訪](#) | [計根別の牛たち](#) | [酪農家の一日](#) | [青年部](#) | [女性部](#)

ぐるっと見わたす大地の中で
あなたとめざす「未来の酪農」

お知らせ・更新情報

2005/04/08 [けねべつJA広報4月号を更新しました。](#)

2005/03/10 [けねべつJA広報3月号を更新しました。](#)

2005/01/24 [JA計根別のHPが開設しました。](#)

今月のJA広報 更新日：2005年6月5日

けねべつJA広報
PDF

農協

- ※結タイトル獲得にー（8月号）
- ※通常総会終了（7月号）
- ※管内農産物処理率を掲載（7月号）

青年部

- ※逸品『BSX-400E』（8/8UP）
- ※THE FRIEND CONNECTION（8/8UP）
- ※屋根のペンキ塗りで窮った会報（8月号）
- ※ロール看板補修終了（8月号）

女性部

- ※中めの森公園でバーベキュー（8月号）
- ※コスモスの里作り種まき参加（7月号）

酪農家の一日
仕事はどのようにして生産されるの？

酪農アルバイト募集
計根別で乳牛のお世話をしてみませんか？

生産の 味方 パートナー

3-A-Day
毎日3回、からだにいいコト
（スリー・ア・デイ）

計根別農業協同組合 〒088-2662 北海道標津郡中標津町計根別本通東3-17-1
TEL代表 (0153) 78-2111 FAX (0153) 78-2556

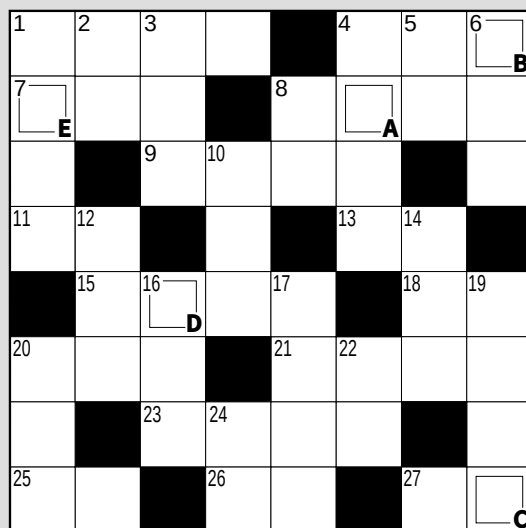
↑タテのキー

- 1 日本風の料理
- 2 住居
- 3 紙の原料
- 4 結婚式の主役のひとり
- 5 パイプ
- 6 役者がしたくをする部屋
- 8 猫の首輪についていることも
- 10 お隣り
- 12 これが高いと上天気
- 14 約束事
- 16 自分が出た学校
- 17 生まれは北海道
- 19 巣立ち
- 20 睡眠中の発言
- 22 値打ち
- 24 目的、理由

➡ヨコのキー

- 1 雨天にフロントガラスの外で活躍
- 4 種子が芽を出すこと
- 7 貝殻
- 8 軽い食事
- 9 光を七色に分解
- 11 植物の水や肥料の通路
- 13 七十歳
- 15 森のバターと呼ばれる果実
- 18 ゲーム、コミ、プロダクション
- 20 木の切り株
- 21 繁華街
- 23 重量物を移動させる巻き上げ機
- 25 重さの単位で記号はt
- 26 神に仕える女性
- 27 同行者

クロスワードパズル



●正解者5名の方にすてきなプレゼントを
さしあげます。なお、正解者多数の場合
は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内
(販売機横)の投書箱へ。または、企画
課までFAX(78-2556)お願いします。

《締め切り》平成17年9月20日まで
当選者の発表は「けねべつ」10月号誌上



クロスワードパズル8月号の答え

コウシエン

抽選の結果下記の方が当選いたしました。
すてきなプレゼントを差し上げます。
企画振興係でお受け取り下さい。

田中 祥太さん 松本久仁子さん
田中 繁子さん 斉藤 長市さん
境 満さん

クロスワード パズル

住 所

氏 名

TEL

答え

A	B	C	D	E

あ と が き

組合員の皆様におかれましては、二番牧草収穫最盛期を迎えて忙しい毎日を送られていることと思います。

さて、八月といえば高校野球。駒大苫小牧球児の活躍により、五十七年ぶりの快挙となる夏二連覇の偉業を成し遂げ、再び真紅の大優勝旗が北海道の大地に帰ってきた。

しかし、野球部内の暴力事件がその後に発覚。どんな裁きとなるのか？高野連の判決に全国が注目しました。道民に夢と希望を与えた甲子園。結果は、優勝不変。

今年の夏も駒大ナインの頑張りで道民の心に勇気を与えてくれました。あの感動だけは誰も忘れることなく北海道の歴史に刻まれることでしょう。



きりとり線



蕎麦

ある組合員さんのお宅で見事な花を咲かせた“蕎麦”。蕎麦畑は80aもの広い畑で育てられ、秋には大きな実を結ぶことと思います。

「蕎麦栽培も今年が初めて、1年目にして絶好調!!」と話す〇〇さん。

今年は美味しい蕎麦をたくさん食べられるのでは?と思います。

さて問題です。この蕎麦畑に隠れている人は誰でしょう? 正解者にはもれなく9月中旬に予定している蕎麦の収穫にご招待します。しかし、収穫した蕎麦は貰えないそうです。



編集／計根別農業協同組合 総務企画部 企画振興課 企画振興係
発行日／平成17年9月1日



盆が過ぎても当地にはめずらしい残暑が続いて、乳牛、人間共に夏バテが解消できない今日です。
我が農協の生乳生産も前年対比九十七・八%と低位生産が続いております。搾乳農家の減少が最大の要因ですが、計画乳量からも三%近く減産、手取り乳価も四十五銭下がり収支に大きな悪影響が出てきております。
農協でも緊急対策として、平成十七年度生乳生産確保対策乳牛貸付制度を立ち上げました。計画未達が予想され、施設、飼料に余裕がある方は、営農課もしくは酪農課へ相談してみてください。

今一つ生産者の皆様方にご理解頂き、注意を願いたい事があります。今年度四ヶ月間に於いて抗生物質混入に依り三件三十七頭の牛乳を廃棄する事故が続きました。私が組合長になってから十八件の廃棄処分と云う異常な発生件数

です。当然の事にホクレン、乳業メーカー、今日に致っては保健所からも「計根別農協の指導はどうなっているのか?」と厳しい叱責を受けている所です。一部の方とは云え当農協の信用を傷つけ、食の安心、安全がより高く求められている今日、誠に情けない思いで一杯です。農協、農協酪対としても、強い罰則強化等、指導強化をせざるを得ません。万が一にも今後このような事故が発生した場合には、本人が、明治乳業、ホクレン、広域運輸、ローリーに合乳した生産者にも謝罪をして頂き、どれだけ多くの方に大きな迷惑をかけているかを理解してもらいます。広報にこのような事を書くのは忍びない思いですが、現実を見極め、今後当農協では安心、安全な良質乳生産を誓って出荷して頂ける事を切にお願い致します。

平成十七年九月一日 瀧瀬 成喜